

令和元年度第2回全国MC協議会連絡会  
情報提供

# メディカルコントロール医師向け eラーニングについて

日本救急医学会MC体制検討委員会委員長  
和歌山県立医科大学救急集中治療医学講座  
加藤正哉

# 日本救急医学会 メディカルコントロール体制検討委員会

2001年

厚生労働省と総務省消防庁で独自に議論されていたメディカルコントロールの整合性をはかり、学術的立場から関係機関にそのあり方を提唱（初代委員長 小林國男先生）

2007年

「病院前救護におけるメディカルコントロール」のあり方を討議（横田順一郎委員長）

2015年9月

「救急医に求められるメディカルコントロールの知識」の段階的目標を提示（溝端康光委員長）

専攻医・若手専門医を対象としたセミナーの企画

2017年10月 第1回救急医のためのMCセミナー開催

# 「救急医に求められるメディカルコントロールの知識」の段階的目標

	SBO	対象			
		専門医専攻医<	<専攻医指導医<	<MCコア業務担当医師<	<MC管理業務担当医
		想定年次			
		3~5年目	5年目以降年次問わず	5年目以降年次問わず	10年目以降年次問わず
		求められる行動			
		専門医取得	専門医への指導	MCコア業務の理解と実践	MC管理業務に理解と実践
MC体制					
	わが国の救急医療体制を説明できる わが国の病院前医療体制を説明できる 救急隊員と救急救命士の資格について説明できる MC活動を説明できる MC関連の法規およびDNAR等の法的諸問題を説明できる				
	地域の救急搬送状況・問題点を把握し説明できる 地域の救急医療機関の状況を把握し説明できる				
	地域の救急搬送状況・問題点を分析し説明できる 地域の救急医療機関の状況を分析し説明できる				
	地域の救急搬送状況の改善に取り組める 地域の救急医療機関の状況改善に取り組める MCの効果判定ができる				
指示・指導・助言					
オフラインMC					
	各種プロトコルを説明できる				
	プロトコルの策定方法を説明できる				
	プロトコルを策定できる				
	新たなプロトコルを提案できる 改正消防法に基づく実施基準を策定し改訂できる				
オンラインMC					
	オンラインMCを実施できる				
	オンラインMCを検証できる				
	オンラインMCのための体制を整備できる オンラインMCにおける問題点を説明できる				
教育					
	救急救命士の教育体制を説明できる				

# 「救急医に求められるメディカルコントロールの知識」の段階的目標

## 対象

専門医専攻医<	<専攻医指導医<	<MCコア業務担当医師<	<MC管理業務担当医
想定年次			
3~5年目	5年目以降年次問わず	5年目以降年次問わず	10年目以降年次問わず
求められる行動			
専門医取得	専門医への指導	MCコア業務の理解と実践	MC管理業務に理解と実践
Phase 1	Phase 2a	Phase 2b	Phase 3

## 「救急担当医（臨床医）に求められるメディカルコントロールの知識」

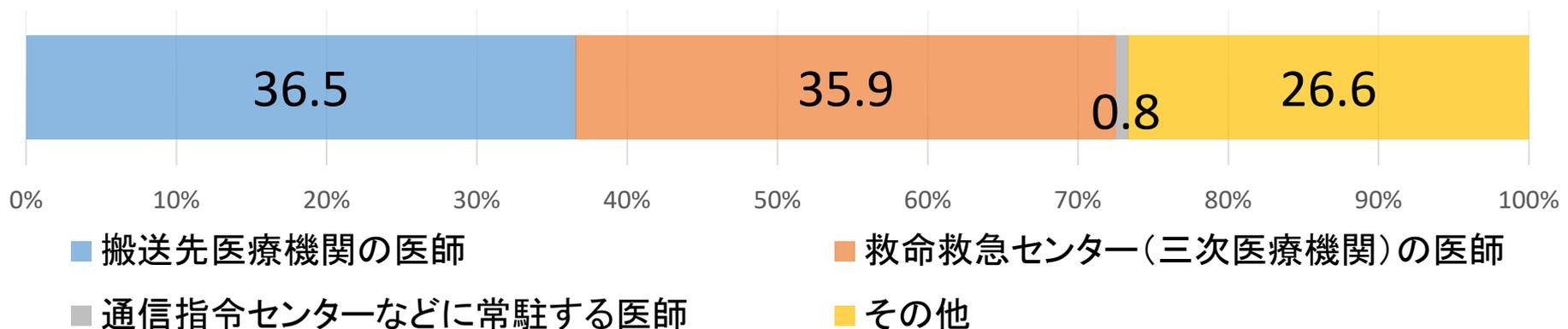
救急を専門としないが、救急診療に携わる（携わざるを得ない）全年代の医師

Phase 0

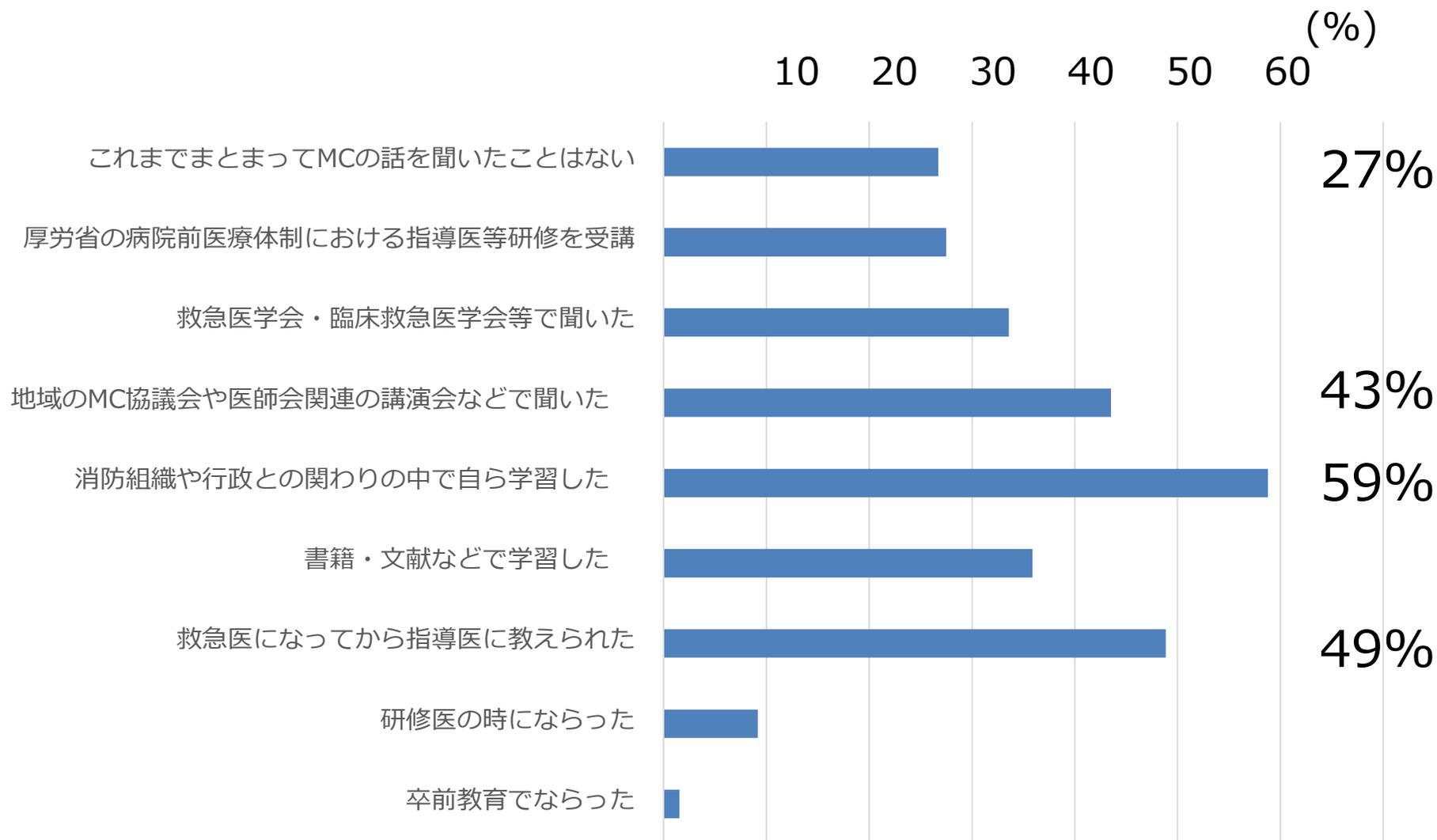
# オンラインを担う医師

- ① 搬送先医療機関の医師
- ② 救命救急センターの医師
- ③ 通信指令センターなどに常駐する医師

例 東京消防庁、横浜市消防局  
千葉市消防局 等



# MCに関する知識習得の機会



# MC医師のための研修

救急医のためのメディカルコントロールセミナー

病院前医療体制における指導医講習会 (初級)

病院前医療体制における指導医講習会 (上級)



# 救急医のためのメディカルコントロールセミナー

## ◆プログラム内容（予定）

	司会：日本救急医学会メディカルコントロール体制検討委員会委員長	加藤 正哉
11:00～11:05【5m】	開会挨拶	
	…日本救急医学会メディカルコントロール体制検討委員会委員長	加藤 正哉
11:05～11:35【30m】	1. 救急医療とメディカルコントロール	
	……………堺市立総合医療センター	横田順一郎
11:35～12:00【25m】	2. 救急業務の担い手と医師の関係	
	……………救急振興財団救急救命九州研修所	郡山 一明
12:00～12:20【20m】	3. メディカルコントロールにかかわる組織と法的根拠	
	……………東海大学医学部救命救急科	辻 友篤
12:20～12:30【10m】	<1.2.3.に関する質疑>	
12:30～13:10【40m】	昼食	
13:10～13:35【25m】	4. プロトコールの読み方・使い方	
	……………札幌医科大学救急医学	上村 修二
13:35～14:15【40m】	5. オンラインで行う指示、指導・助言	
	……………救急振興財団救急救命東京研修所	田邊 晴山
14:15～14:25【10m】	<4.5.に関する質疑>	
14:25～14:35【10m】	休憩	
14:35～15:05【30m】	6. 検証とフィードバック	
	……………福岡市民病院救急科	野田英一郎
15:05～15:35【30m】	7. 病院実習における教育	
	……………市立札幌病院救命救急センター	佐藤 朝之
15:35～15:45【10m】	<6.7.に関する質疑>	
15:45～15:55【10m】	休憩	
15:55～16:15【20m】	8. 医師が出動する医療でのメディカルコントロール	
	……………公立豊岡病院但馬救命救急センター	小林 誠人
16:15～16:30【15m】	<まとめと全体の質疑>	
	…日本救急医学会メディカルコントロール体制検討委員会委員長	加藤 正哉
16:30～	参加証（兼領収書）配布	

MC指導医師の底上げを全国で実現するために

- Phase 0 の救急担当医師に対する教育コンテンツを救急医学会が作成
- 都道府県MC協議会において、用意されたコンテンツの使用法を協議して運用

# 2つのe-learningを作成

- 救急専攻医（phase1）対象
  - 日本救急医学会主催の「救急医のためのメディカルコントロールセミナー」と同等
- 救急診療に携わるすべての医師（phase0）  
対象

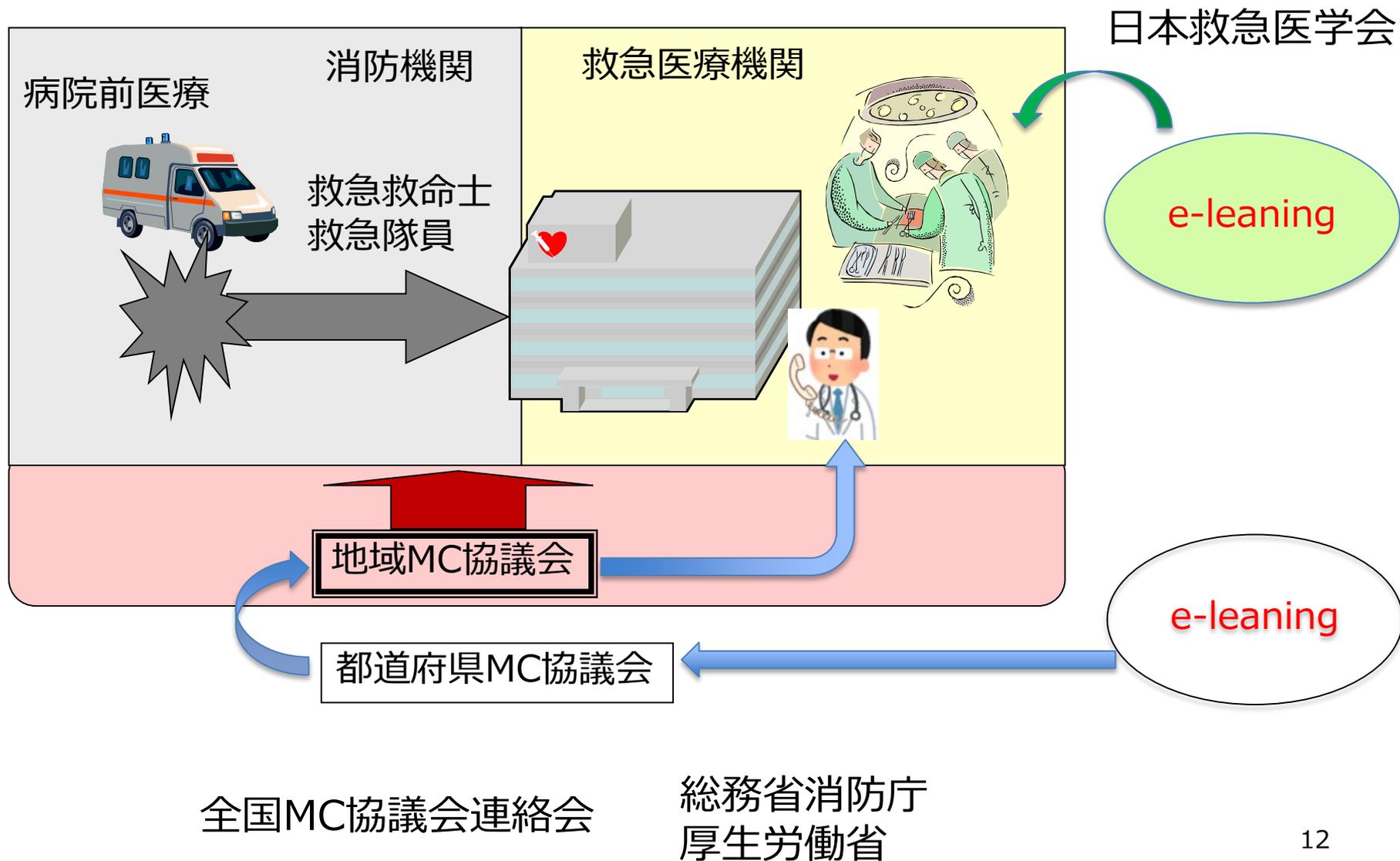
# e-learning コンテンツ

一般医用

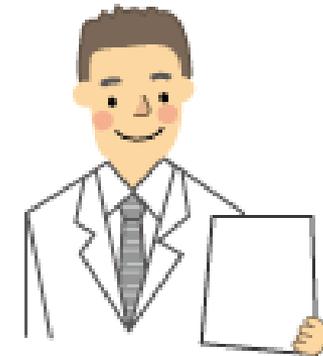
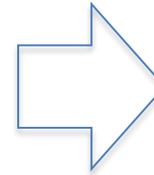
専攻医用

1.救急医療の成り立ちとメディカルコントロール	横田順一郎	7:25	7:25
2.救急業務の担い手と医師との関係	郡山 一明	9:14	14:30
3.メディカルコントロールにかかわる組織と法的根拠	辻 友篤	6:46	10:56
4.プロトコルの読み方・使い方	上村 修二	6:04	9:58
5.オンラインによる指示, 指導・助言の実施	田邊 晴山	6:24	13:44
6.検証とフィードバック	野田英一郎	6:37	12:35
7.病院実習における教育	佐藤 朝之	なし	14:14
8.医師が現場に出動する際その他職種連携	小林 誠人	なし	13:24
		42'30"	96'46"

# MC知識普及の概念図



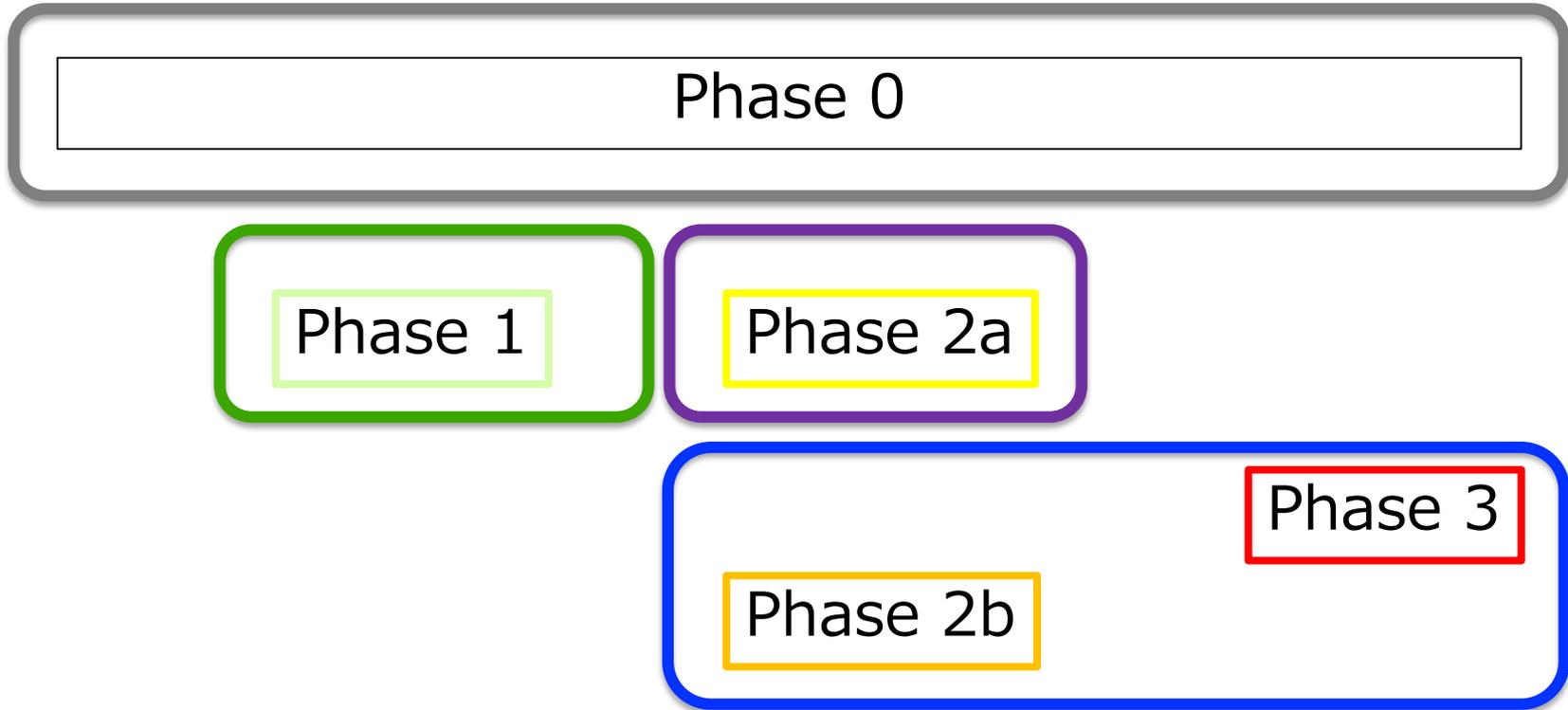
# e-learningの活用法



動画視聴  
確認テスト

日本救急医学会認定  
MC医師基礎研修修了証(仮)

# これからのMCに関わる医師向け教育



一般医向けe-learning

専攻医向けe-learning

病院前医療体制における指導医講習会 (初級)

病院前医療体制における指導医講習会 (上級)

# MC医師に期待される役割

公的な立場として地域を俯瞰した視点を!

- ・ 現場と行政との橋渡しとしての役割
- ・ 変化する人口構造や疾病構造を把握し、MC協議会内外の調整(行政機関等も含む)と市民への還元
- ・ PAD症例の検証、搬送困難症例の検証など従来の事後検証とは異なる検証作業に取り組む役割



# まとめ

- 地域MCを統括する立場の医師には、救急医療に関わるすべての医師が、様々な病院前救護活動について、それぞれの地域で定められているルールに則った指導・助言ができる事を保証する責務があります
- 救急隊員、救急救命士の教育と共に、MC医師の教育にも配慮して下さい
- MC医師向けe-ラーニングの活用法をMC協議会においてご検討下さい